

事務事業名		運動公園体育館耐震補強事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	3	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				担当係	管理係		担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営				実施計画事業・一般事業		実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	15379	一般	10	5	2	運動公園体育館耐震補強事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H25年度～H26年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営				
						事業分類		施設等整備事業				
						リーディングプロジェクト		該当				
					市長マニフェスト		該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
・運動公園体育館は、耐震診断の結果耐震補強工事が必要になったため、平成25年度に実施設計を行い、平成26年度に耐震補強工事を行う。		平成25年度に実施設計を行い、平成26年度に耐震補強工事を実施した。						
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
運動公園体育館の利用者数		人	64,219	41,332				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
・市民 ・運動公園体育館		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		人口	人	123,182	122,582			
		運動公園体育館の利用者数	人	64,219	41,332			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
・利用者が安全に利用できる運動施設の整備が図られる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		運動公園体育館の利用者数	人	64,219	41,332			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
良好な状態を維持する		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		スポーツ施設整備計画の達成度	%	-	-	30.0	35.0	40.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円	1,172		15,342							
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	4,351		35,418							
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円	5,523		50,760		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	実施設計委託料	5,523	工事請負費	50,760						
人件費	正規職員従事人数	人	1		1							
	のべ業務時間	時間	20		20							
	人件費計(B)	千円	78		79		0		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,601		50,839		0		0		0	

事務事業名	運動公園体育館耐震補強事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	---------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・耐震診断の結果、補強工事が必要となったため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 ・安全な運動施設に整備することで、生涯スポーツ・レクリエーションの推進が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 ・市が設置した施設である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 ・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と、健康維持・体力の向上が望めるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 ・必要最小限の経費であり妥当である。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 ・利用者からは利用料金を徴収している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	・耐震補強事業が完了すれば事業終了となる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			